



## メンバー

藤田真浩

小倉一紀 コンヒョング 庄司真太郎

山中翔平 林銀河 菅柊斗 柳澤証

飛澤拓虎 内山海

# 藤田プロジェクト 2025

## —— テーマの背景と目的 ——

誰もが被害者になりうるという当事者意識を持たせることを目的として日常生活に潜むリスクを体験を通して学ぶ教育プログラムを企画しました。巧妙化するフィッシング詐欺や画像解析による個人情報の特定といった現代的な脅威に対する理解を深め、情報社会を安全に生き抜く力を身につけてもらうことを目指します。

## 企画の具体案

高校生・大学生を対象に「画像アップロードによる特定の危険性」と「フィッシング詐欺の巧妙さ」を体験を通じて学べる、2種類の体験会を開催しています。

画像体験会では、クイズ形式で体験に参加することができ、実際の犯罪例も学ぶことができます。画像の扱い方やリスクへの理解を深められるだけでなく、近年急速に発展している AI や画像加工技術の活用方法も体感できます。フィッシング詐欺体験会では、本物と偽物のサイトの自作資料による比較や解説、被害後の対処法も学ぶことができます。

## —— 予想される成果物

本プロジェクトでは、成果発表として「外部講義」と「最終報告会」の2種類の体験会を計画しています。画像班とフィッシング班がそれぞれ異なるアプローチで、情報リテラシー教育に資するツールや資料を制作中です。

### 【画像班】

中間報告会に引き続き、クイズ形式の参加型体験を軸に、視覚的かつ直感的に操作できるWebサイトを開発中です。

#### ・外部講義向け

クイズで選ばれた「特定のヒント」を起点に、実際に起きた事件例を紹介・解説する講義パートを展開します。現在、そのためのスライドや解説資料を制作中です。単なる正解・不正解の確認にとどまらず、「そのヒントがどのように悪用されどんな被害が発生したのか」を具体的に伝えることで、情報リテラシーの重要性をより深く実感できる構成とします。

参加者は、提示された画像から「特定の手がかり」となりうる要素をドラッグ&ドロップで選択し、画像に潜む情報の危険性を体感できる仕組みです。

#### ・最終報告会向け

AIに頼らず、OCR(光学文字認識)技術を用いて画像内の文字情報を抽出する自作ツールを開発しています。

どのように画像から文字が機械的に読み取られ、情報漏洩につながるかを可視化し体験的に理解できることを目指します。

### 【フィッシング班】

#### ・外部講義向け

参加者がフィッシング詐欺の手口を体験的に学べる「偽Googleフォーム風Webページ」を制作しています。

これは実際の被害事例をもとに構成されており、フィッシングの仕組みや注意点について理解を深めてもらうことを目的としています。

#### ・最終報告会向け

より巧妙な手口の例として、「ヤマト運輸の偽サイト」を再現したWebページを発表する予定です。併せて、偽サイトの構造や詐欺の誘導手法を視覚的に説明する比較資料やフローチャートも作成し、理解を促す工夫を行います。

## —— 見通しとスケジュール

---

### 【画像班】

#### ・Webクイズについて

現在はGoogleフォームを活用したクイズを中間報告会で使用しています。ただし操作性や演出面に限界があるため、ドラッグ&ドロップ操作などを取り入れたWebサイト版のクイズを開発していく予定です。完成後は外部講義・最終報告会の両方で活用します。

#### ・講義資料について

外部講義向けに、「特定のヒント」から事件例につなげて解説するスライド資料や原稿を作成しています。参加者が被害の具体性を理解し、情報リテラシーの向上を実感できるように設計しています。

#### ・OCRツールについて

最終報告会に向けて、画像内の文字を読み取る自作OCRツールを開発しています。基本的な文字認識機能は実装済みで、今後は精度向上やUIの調整を進めていく予定です。

#### ・今後のスケジュール

～9月: Webクイズ試作の完成、講義資料の初稿作成

10月: 外部講義の実施とフィードバックの収集

11月: Webクイズの改良、OCRツールの調整



## —— 見通しとスケジュール

---

### 【フィッシング班】

#### ・比較資料・フローチャートについて

中間発表会では、総務省やフィッシング対策協議会の情報をもとに、実例や特徴対処法などをまとめた資料を使用する予定です。今後、外部講義や中間発表会のアンケート結果をふまえて内容を改良し、最終報告会で完成版を公開する予定です。

#### ・偽ヤマトサイトについて

URLの特徴やページ構成など偽サイトの構造分析は完了しており、模倣サイトの制作は外部講義終了後(10月以降)に着手する予定です。

#### ・偽Googleフォームについて

現時点では未着手ですが、8～9月に設計・コーディングを行い、10月にバグ確認や動作調整を実施します。このフォームは外部講義と最終報告会の両方で使用する予定であり、講義後のフィードバックを反映してブラッシュアップを進めていきます。

#### ・今後のスケジュール

～9月：偽Googleフォームの開発

10月：外部講義の実施とフィードバックの収集、ヤマト模倣サイトの設計

11月：実装の完了、テスト、最終調整

12月：最終報告会での発表